

柳沢公民館 柳沢1-15-1 ☎042-464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp  
田無公民館 南町5-6-11 ☎042-461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp  
芝久保公民館 芝久保町5-4-48 ☎042-461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

谷戸公民館 谷戸町1-17-2 ☎042-421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp  
ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 ☎042-424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp  
保谷駅前公民館 東町3-14-30 ☎042-421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp



▼社会教育活動の原点は何ですか。  
長女が小学校に入学した1960年に始まり、末の子が高校

を卒業するまで約20年間続いたPTA活動です。学校の後援会のようなPTAの在り方に疑問を感じ、専門書を読んだり、学習会に参加したりしてPTAについて学びました。共感してくれる仲間と共に「会長・副会長を選挙で選ぶ」「会費は学校接待費ではなくPTA活動に使う」などの改革を進めました。みんなにPTAのことをわかってもらおうと会議の内容などを知らせる会報も出しました。そのころは、鉄筆で原稿を書く、いわゆる「ガリ版」で、公民館の孔版教室がとて役に立ちました。必要としている時に、職員が講座を開いてくれて助かりました。私は、PTAは訓練の場だと思っています。いろいろな人がいる組織で、自分の意見を言い、人の意見に耳を傾ける。活

▼公民館との出会いは？  
私が西東京市(旧保谷町)に引っ越してきたのは1959(昭和34)年。公民館との最初のかかわりは、母に婦人学級への参加をすすめたことです。1961年に東伏見小学校の敷地内に公民館ができた時、私は子育ての中で、まず母に公民館のことを知ってもらおうと思ったのです。もともと向学心旺盛だった母は生き生きと公民館に通い、社会へと目を向け友を得るようになりました。母と私の間で公民館と学びへの共通理解が深まり、互いの学習活動を支えあう協力関係ができました。

動の中で学んだ民主的な話し合いや予算の組み方など、その後の自治会活動にも生かしました。PTAからの推薦枠で社会教育委員になると、社会教育についても熱心に勉強しました。

▼旧保谷市のころに公民館運営審議会委員(以下公運審委員)をしていますね。  
最初は1970年代前半、当時、旧保谷市では社会教育委員と公運審委員を兼ねていました。1978、1980年ごろからは、社会教育関係団体等から選ばれる2号委員について、市民が公開の場で候補者を選出し、教育委員会に推薦するという方法がとられるようになりました。団体から推薦された候補者と団体の代表が集まった推薦会で、話し合いや選挙等で民主的に委員として推薦する人を選ぶのです。教育委員会は推薦を尊重して委嘱していました。柳沢公民館が開館した1987年、私は東伏見公運審委員で、開館と同時に柳沢公運審委員に移行しました。

公運審の会議の内容を市民に伝えようと、独自に「公運審だより」を年3回、発行しました。定例会後、情熱をもって編集をしたことを思い出します。市民への活動報告会も1年に1回、行いました。市民団体から館内消毒に関する要望書が公民館や公運審に出された時は、市民にも呼びかけて公運審主催で学習会を開きました。

奥津さんは、公民館の主催講座に参加するほか、公民館だよりの編集に携わったり、柳沢駅南口公民館・図書館建設検討委員会の委員長を務めたり、1980年に始まった「社会教育を考える保谷市民のつどい」、それを引き継ぐ「保谷市公民館大会」を実行委員として創ってこられました。また、市民参加と市民自治による公民館づくりをめざす「公民館をよりよくする会」や被爆者のお話を聞く会を行う「核戦争の恐ろしさを子どもに伝える会」等でも長年、活動しています。奥津さんの公民館活動の足跡は旧保谷市の公民館の歴史と重なります。

委員は推薦会で抱負を述べた上で選出されていきましたから、市民みんなの代表であるという意識が強かったと思います。1992(平成4)年7月から1996年6月まで柳沢公運審委員を2期4年間務めた時は、

▼一言でいうと、奥津さんにとって公民館とはどういうところですか？  
公民館は真実を探求し、平和と民主主義を築いていくところ。学ぶことは生きること。生きることとは真実を知ること。学ぶことなくして生きることができません。真実を知るよるこびこそが生命を輝かせ、生きがいにつながりました。

私は公民館で学び、つながり育てられました。ですから、生命を育む公民館を守り、さらによりよくしていかなければと考えています。

柳沢公民館開館30周年記念イベント週間

柳沢公民館では、12月3日(日)から10日(日)まで、全館あげて開館30周年記念イベントを行います。詳細は12月1日号をご覧ください。

作品展 12月5日(火)～12月10日(日) 発表会 12月9日(土)・10日(日)  
サークル見学会 12月5日(火)～12月8日(金) 陶芸・木工・染色・革工芸のサークル

Table with 2 columns: Workshop/Event Name and Details (Date, Time, Location, Fee). Includes 'Text Diagnosis', 'Compact Camera Photography', 'Cherry Blossom Song', 'Diaphragm Breathing', 'Human Figure', 'Flower Experience', 'Song Harmonies', 'History Lecture', and 'Ergonomic Experience'.

柳沢 柳沢公民館開館30周年記念講演会 わたしたちの公民館 ～その可能性を考えよう～

「多くの人にとって、公民館は快適で便利に利用できるサークル活動の場。でも、それだけではなく、いろいろな分野のサークルが、複数、活動している施設だからこそ、何かを生み出すことができるのでは？」このような実行委員会での話し合いから生まれた、公民館について考える講演会です。公民館のなりたちとあゆみからその役割について考え、事例報告や他地域の実践例から公民館の可能性を探りませんか？

時 11月19日(日) 12時半～17時  
場 柳沢公民館  
定 110人(先着順)  
講 長澤成次 (千葉大学名誉教授・日本社会教育学会会長)  
内 12時半～13時 映画「公民館」(1950年製作)上映  
13時20分～17時 ・講演 ・市民による事例報告 (大津幹太郎、小島雄雄、小須田厚子、小林道子)

